平成31年第1回玖珠町議会臨時会会議録(第1号)

平成31年1月18日(金)

1. 議事日程第1号

平成31年1月18日(金) 午前10時開議(開会)

- 第 1 会議録署名議員の指名
 - 第 2 会期の決定(議会運営委員長報告)
 - 第 3 議案の上程(議案第1号から議案第2号及び報告第1号から報告第2号)
 - 第 4 行政報告及び提案理由の説明
 - 第 5 質疑・討論・採決
 - 第 6 委員会の閉会中の継続調査について
-

1. 本日の会議に付した事件

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
 - 日程第 2 会期の決定(議会運営委員長報告)
 - 日程第 3 議案の上程(議案第1号から議案第2号及び報告第1号から報告第2号)
 - 日程第 4 行政報告及び提案理由の説明
 - 日程第 5 質疑・討論・採決
 - 日程第 6 委員会の閉会中の継続調査について
-

出席議員(12名)

1 番	中 尾 拓	2 番	松 本 真由美
3 番	大 野 元 秀	4 番	小 幡 幸 範
5 番	松 下 善 法	7 番	廣 澤 俊 幸
9 番	宿 利 忠 明	10 番	秦 時 雄
11 番	高 田 修 治	12 番	藤 本 勝 美
13 番	繁 田 弘 司	14 番	河 野 博 文

欠席議員(1名)

職務のため議場に出席した者の職氏名

事務局長 山本 五十六 議事係長 山本 恵一郎

地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

町 長	宿 利 政 和	教 育 長	秋 吉 徹 成
総務課長	村 木 賢 二	まちづくり 推進課長	中 島 圭 史
まちづくり推進課 総合戦略室長	衛 藤 正	環境防災課長兼 基地対策室長	藤 原 八 栄
税務課長	石 井 信 彦	福祉保健課長	本 松 豊 美
住民課長	小 幡 弘	建設水道課長	梅 木 良 政
建設水道課 水道室長	穴 井 智 志	農林業振興課長	藤 林 民 也
農業委員会 事務局長	渡 邊 克 之	商工観光振興 課 長	秋 好 英 信
会計管理者兼 会計課長	江 藤 幸 徳	人権同和啓発 センター所長	帆 足 浩 一
教育総務課長	横 山 芳 嗣	新中学校開校 推進室長	長 尾 孝 宏
学校教育課長	佐 藤 貴 司	社会教育課長兼 中央公民館長	瀧 石 裕 一
わらべの館館長 兼久留島武彦 記念館事務局長	吉 野 弥也子	総 務 課 行 政 係 長	和 田 育 男

上 程 議 案

- 議案第1号 くす星翔中学校建設事業電気設備工事の請負契約の変更について
- 議案第2号 くす星翔中学校建設事業機械設備工事の請負契約の変更について
- 報告第1号 専決処分の報告について（その13）（和解及び損害賠償額の決定について）
- 報告第2号 専決処分の報告について（その14）（訴えの提起について）
-

午前10時00分開議（開会）

○議 長（河野博文君） 皆さん、おはようございます。

傍聴される皆さんにお願いします。

会議中は静粛に願います。

なお、会議中の言論に対し、拍手や可否表明などの言動はかたく禁じられております。

また、会議の傍聴規則第7条並びに第9条の規定により、写真撮影や録音機器の使用は、禁止されております。携帯電話、スマートフォンをお持ちの方は、電源をお切りになるか、マナーモードに設定されますよう御協力お願いいたします。

本日の会議に欠席の届け出が提出されていますので、報告いたします。

議員につきましては、8番石井龍文君、病気のため欠席の届け出が提出されております。

ただいまの出席議員は12名です。

会議の定足数に達しております。

地方自治法第113条の規定により、平成31年第1回玖珠町議会臨時会は成立しました。

よって、ここに本臨時会の開会を宣言し、直ちに本日の会議を開きます。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（河野博文君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により議長において

5番 松下善法君

10番 秦時雄君

の2名を指名いたします。

日程第2 会期の決定

○議長（河野博文君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

議会運営委員会委員長に委員会協議の結果について報告を求めます。

議会運営委員会委員長高田修治君。

○議会運営委員長（高田修治君） おはようございます。

議会運営委員会の協議結果について御報告をいたします。

平成31年第1回玖珠町議会臨時会の開会に当たり、去る1月15日、議会運営委員会を開催いたしました。本臨時会に上程されます議案につきまして、執行部の出席を求め、概略の説明をいただき、会期日程並びに議案の取り扱いについて慎重に協議を行いました。

会期日程につきましては、お手元にあらかじめ配付してあります日程表（案）のとおり、本日1月18日の1日間としたいと思います。

本臨時会に上程されます議案は、請負契約の変更案件2件と専決処分の報告案件2件でございます。

なお、本日の臨時会は、議案の性格上、委員会付託を省略し、本日の日程の中で採決までお願いしたいと思います。

どうか本臨時会の意向を御理解いただきまして、慎重なる審議をいただき、議会運営に格段の御協力を賜りますようお願い申し上げます、報告といたします。

○議長（河野博文君） お諮りします。

ただいま議会運営委員長より委員会協議の結果について報告がありましたが、今臨時会の会期は本日1月18日の1日間としたいと思いますが、これに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（河野博文君） 異議なしと認めます。

よって、今臨時会の会期は、本日1月18日の1日間と決定いたしました。

日程第3 議案の上程（議案第1号から議案第2号及び報告第1号から報告第2号）

○議長（河野博文君） 日程第3、議案の上程を行います。

今臨時会に提出されました議案第1号と議案第2号の2議案及び報告2件について、一括上程したいと思いますが、これに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（河野博文君） 異議なしと認めます。

よって、今臨時会に提出されました議案第1号と議案第2号の2議案及び報告2件について、一括上程することに決定しました。

日程第4 行政報告及び提案理由の説明

○議長（河野博文君） 日程第4、行政報告及び提案理由の説明を求めます。

宿利町長。

○町長（宿利政和君） 皆様、おはようございます。

本日ここに平成31年第1回玖珠町議会臨時会を招集申し上げましたところ、議員各位皆様におかれましては、年明けの何かとお忙しい時期にもかかわらず御参集を賜りまして、まことにありがとうございます。

今臨時会の開会に当たりまして、行政報告と議案の概要及び提案理由を説明申し上げ、議員の皆様を初め、町民の皆様の御理解と御協力を賜りたくお願いを申し上げたいと考えているところでございます。

それでは、まず最初に、12月に行われました玖珠町議会定例会以降の行政報告を申し上げたいと思います。

年明けの1月5日、お正月の恒例行事となりました第43回玖珠町正月マラソン大会が総合運動公園ジョギングロードで開催されまして、町内の小学校4年生から中学3年生まで、総勢122名の児童・

生徒が出場参加をいただきました。

また、同じ日の5日でございますが、わらべサークル協議会の主催によります新春こどもまつりが行われまして、こま回しやたこ揚げなどのお正月遊び体験、そして劇団バクの人形劇等の催しに、町内外から子供たち、御家族連れ、ボランティアの方々など、総勢約400名以上の方々に参加をいただきまして、関係者の御尽力によりまして開催され、童話の里くすまちの新春のイベントとしても、このことについては定着してまいっているところでございます。

次に、1月13日の早朝より、平成31年玖珠町消防団特別点検が玖珠川河川敷にて実施されました。当日は朝からの小雨模様の天候ではございましたけれども、衛藤博幸消防団長以下345名により、放水点検や各種訓練点検がございまして、続いて、永年勤続表彰など、消防団活動に御尽力をいただいた方々に対します表彰行事を行ったところでございます。

火災や大規模災害が全国的に発生している昨今でございますけれども、日々の訓練や装備の点検、予防活動を通じまして、住民の安心・安全のために取り組む消防団に対しまして、改めて敬意を表しますとともに、いざ火災などの有事の際には、私ども行政と一体となりまして、被害を最小限に食いとめるための対策を講じてまいりたいと思っておりますし、消防団にも期待申し上げているところでございます。

また、13日の午後からは、メルサンホールを会場にいたしまして、玖珠町成人式が開催されまして、ことしは159名の新成人が対象となり、御案内を申し上げましたところ、120名の御出席をいただき、成人証書の授与並びに成人者代表の答辞など、一連の式典が整然と行われたところでございます。

町議会議員の皆さんにおかれましても、大変お忙しい中、お寒い中でございましたが、消防団の特別点検、そして成人式に御参列を賜りまして、心から感謝を申し上げる次第でございます。

そのほかにも、1月1日付で地域おこし協力隊員に福岡県御出身で、当時は大阪市より赴任いただきました清武直也さんが地域おこし協力隊員として着任をいただきました。清武さんは、現在、玖珠地区のコミュニティ運営協議会に配属をしまして、コミュニティ運営協議会の部会の支援、そしてまた伐株山公園の整備等々に御活躍をいただいているところでございます。清武さんは24歳の若さ、そして知識やいろんな経験を生かしていただき、地域活性化につながる活動を期待しているところでございます。

すみません、先ほど申し上げました正月マラソン大会は、1月5日じゃなく、1月7日という誤りでございました。訂正させていただきます。申しわけございません。

また、清武さんは大学までのラグビー経験を生かし、社会人の玖珠クラブのラグビーにも御参加いただけるということで、公私ともに期待が持てる好青年でございます。

以上で行政報告を終わりたいと思います。

続きまして、本日の臨時議会に上程させていただきます議案につきまして、提案理由を申し上げたいというふうに思っております。

今臨時会に上程いたします議案は、工事請負契約の変更案件2件、専決処分の報告案件2件の計4

件でございます。

議案集は、別冊となっております。

それでは、早速、議案集の1ページ目をお開き願います。

議案第1号は、くす星翔中学校建設事業電気設備工事の請負契約の変更についてでございます。

この議案は、平成29年第5回玖珠町議会定例会9月議会で請負契約の締結の議決をいただきました議案第90号、くす星翔中学校建設事業電気設備工事の請負契約についての契約の変更でございます。本事業は、校舎及び体育館等の電気設備工事であり、工事の過程におきまして、4点についての変更が生じたということでございます。

まず、1点目が現存校舎の配線工事の追加、2点目がメディア棟の分電盤配置工事の追加、3点目がアリーナ棟の電気工事の追加、4点目が高圧受電設備の容量の増加に伴います変更が必要となったということで、契約の一部に変更ということで、玖珠町議会の議決に付すべき契約及び特に重要な施設の廃止に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるというものでございます。

契約変更事項は、契約金額の変更でありまして、契約前が2億7,203万400円（消費税額を含む）でございますが、それを変更し、変更後が2億9,352万240円（消費税額を含む）とすることによりまして、2,148万9,840円の増額となるものでございます。

なお、黄色の表紙でつづっております上程議案の参考資料集の1ページ目に、変更内容がわかる資料を掲載しておりますので、あわせてごらんいただきたいと思っております。

続きまして、議案集の2ページをお開き願います。

議案第2号は、くす星翔中学校建設事業機械設備工事の請負契約の変更についてでございます。

この議案は、同じく平成29年第5回玖珠町議会定例会9月議会で、請負契約の締結の議決をいただきました議案第91号、くす星翔中学校建設事業機械設備工事の請負契約についての契約の変更に当たります。

本事業は、校舎及び体育館等の機械設備工事であり、工事の過程におきまして、次の3点につきまして変更を生じる必要になったというものでございます。

1点目は、既存設備メンテナンス工事の追加でございます。2点目が、新規設備としまして、凍結防止工事の追加、3点目が新規設備の追加という3点につきまして必要性が生じたことによりまして、契約の一部に変更が生じたので、玖珠町議会の議決に付すべき契約及び特に重要な施設の廃止に関する条例第2条の規定によりまして、議会の議決を求めるというものでございます。

契約変更事項は、契約金額の変更でありまして、変更前が2億3,351万7,168円（消費税額を含む）を変更いたしまして、変更後が2億4,119万2,080円（消費税額を含む）とすることによりまして、767万4,912円の増額になるというものでございます。

なお、先ほどと同様、黄色の表紙につづっております上程議案の参考資料集の2ページ目に変更内容がわかる資料を添付しておりますので、ごらんいただきたいというふうに思っております。

続きまして、議案集の3ページ目に入らせていただきます。

報告第1号でございますが、専決処分の報告について（その13）（和解及び損害賠償額の決定について）であります。

この議案は、和解及び損害賠償額の決定について、地方自治法第180条第1項の規定に基づきまして専決処分をいたしましたので、同条第2項の規定によりこれを報告申し上げるというものでございます。

議案の概要につきましては、次のとおりでございます。

昨年の平成30年9月21日、午前7時55分ごろ、当玖珠町のふれあい福祉バス、14人乗りのワゴン車でございますが、国道210号の戸畑自治公民館付近を日田方面に向かいまして運転走行中、相手方の車両が左側の町道戸畑線から走行中の国道へ進入した際に接触をしまして、当町バスの左前方側部と相手方車両の前面がそれぞれ損傷したというものでございます。

平成30年11月16日に相手方と損害賠償金5万2,791円を補償することによりまして合意に至りましたので、地方自治法第180条第1項の規定に基づき、専決処分の報告を申し上げるというものでございます。

続きまして、議案集の5ページ目をごらんいただきたいと思っております。

報告第2号につきましては、同じく専決処分の報告について（その14）（訴えの提起について）でございます。

この議案は、学校給食費支払請求につきまして、地方自治法第180条第1項の規定に基づき、訴えの提起を専決処分いたしましたので、同条第2項の規定により、これを報告申し上げるというものでございます。

内容は、被告に対し、学校給食費の滞納分10万9,530円を支払うよう、訴えを提起したものでございます。

請求の原因につきましては、原告であります玖珠町が設置します町立の中学校に、平成25年4月から平成28年3月までの3年間、被告の子を在籍させました。その際、被告はその期間中の給食費を滞納したため、当時から現在まで、被告に対しまして書面や電話等々で再三にわたります催告を行いましたけれども、現在に至るまで支払いをいただいております。よって、訴えの提起をもって、被告に対し学校給食費の滞納分の支払いを請求するというものでございます。

以上、臨時会に上程いたしましたのは、工事請負契約の変更案件2件、そして専決処分の報告案件2件の計4件でございます。

なお、星翔中学校の開校に向けまして、たび重なる予算の変更につきまして大変御迷惑をおかけいたしますが、何とぞこのたびの平成31年第1回玖珠町議会臨時会におきまして、御審議並びに議決を賜りますよう重ねてお願いを申し上げまして、提案理由の説明とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

日程第5 質疑・討論・採決

○議長（河野博文君） 日程第5、議案の質疑・討論・採決を行います。

これより議案の質疑を行います。

議案集、参考資料集をお出しください。

議案第1号、くす星翔中学校建設事業電気設備工事の請負契約の変更について質疑を行います。

質疑ありませんか。

4番小幡幸範君。

○4番（小幡幸範君） 議席番号4番小幡です。

本議案についてですが、全員協議会にて先日資料をいただきましたけれども、その中で変更に至った理由として、当初の設計では現場におさまらないことが判明したといったことであつたり、当初予定していた分電盤のスペースが確保できなくなったなど、設計に誤りがあり、変更を行ったとの説明が多数見受けられましたけれども、当初の設計から変更が多く発生している理由は何なのかと、また事前に予見することはできなかったのかを伺います。

○議長（河野博文君） 長尾新中学校開校推進室長。

○新中学校開校推進室長（長尾孝宏君） 小幡議員の御質問にお答えしたいと思います。

まずもって今回こういった形でまた多くの契約変更が生じておりますこと、大変申しわけなく思っております。

その中で先日御説明した部分ではございますが、まず今ありました分電盤の位置が当初入っておるはずができなくなったという部分については、これについては、この設備工事に先立って行われます建築工事のほうで、その部分の寸法の変更というものが行われて、それに入らなくなったという部分で、改めてこういった設備工事のほうでそういったものを設けるための工事を行うという部分でございます。

その他電気工事の中では、コンクリートの内部配線の一部に誤りがあったという部分をお伝えしたんですが、これにつきましては、設計業者のほうから設計のほうをいただいて、当然それを私どもがチェックした上で公告するという部分なんですけど、そのときにチェックができなかった部分、そしてその他の部分であるとすれば、既存のものを利用しようとした部分、特に配線の線とかというふうになるんですが、そういったものについて既存のものを利用する中で、工事をする中でその破損した部分等がだんだん見つかったと。このままでは工事が完了した時点で、配線としては使える状況であっても、遠くない将来それが進んで支障が出る可能性があるということで、そういった部分も含めて今の時点で取り扱ったほうが、途中で判明して、そのためわざわざ壁をあけたりであったりとか、足場を組んだりであったりとかということをするよりも、トータルのコスト的には、比較すると安くなるんじゃないかというような判断も含めて、今回まとめてそういった部分を新しいものにかえさせていただいた部分、それと既存の換気扇等については、そういった部分の破損が進んでいる分については、そのさびを取ったりとか、コーキングをやり直したりとか、そういった部分での長期の使用に耐えるような施工を追加したりと、そういった部分が含まれております。基本的に長く使えるための

部分がそこに含まれておるといふことで、御了承いただきたいなというふうを考えております。

以上でございます。

○議長（河野博文君） いいですか。

ほかにありませんか。

13番繁田弘司君。

○13番（繁田弘司君） 私も今と同様のことをお尋ねしようというふうに思いましたが、先に小幡議員のほうから質問がございましたので、理解はできております。

30億近い予算を、本当に担当者の方はよく頑張ってここまで来たというふうに思います。専門家じゃないですから、いろいろ出てくるかもしれません。

でも、今回たび重なる設計変更が出てきたわけですね。なぜそういうふうに設計変更がたび重なって出てきたかと。しかも、例えば土工事に関しては、ここには昔から水が出るから十分に注意をするようにといて、事前の調査もきちっと本来やるべきところを、やってみなければわからないということで、また新たな追加が出てきた。

電気工事の変更は、約1割近い金額が提示をされているわけですね。押し詰まったこの時期に、こういうふうな変更は、業者にとって過度の負担になるんじゃないかというふうな心配もいたします。そういうふうな部分については、事前に業者ときちっと打ち合わせができていたかどうかというのがまず1点。

それから、言うなれば、設計業者のミスか、それとも発注元のミスか、さらには言うなれば、これはリニューアルですから、当然工事をやってみないとわからない。その中でこういうふうな事態が出てきたのか、設計業者のミスか、発注元のミスか、それとも工事をしていって初めてわかったようなことになったのかという分についてがまず2点。

なぜそういうふうなことを私が言うかといいますと、私たちも例えば中学校統合特別建築委員会とかいうのはもうなくなりましたから、その都度説明は受けていますけれども、建築本体は何月何日に終わって、金額が幾らで、幾らで終わったのか。さらには、外構、電気、管工事などもたびたびありますが、全体的なそういうふうな部分では、全体額から現在どういうふうになっているかというのが3点目の質問、全体金額。当初30億円やったのが25億円で終わりましたとか、31億かかりましたとか、その3点目。

1つ私が思うのは、例えば中学校に今度駐輪場ができますよね、自転車を置くところ。ところが、普通、自転車を置くところといえば、バラス入れて転圧して、その上にコンクリートで十分なところに、そのコンクリートの下に地盤沈下を防ぐためのといったパイプを何本も打ち込んでいるわけです。普通こういうふうなのは常識的に、発注元がいやいやそこまでしなくていいですよと、自転車置くだけですから、荷重はしれていますから、というふうな指導ができなかったのかどうか。そういうふうなもろもろの言うなれば、どこに責任が明確にあるのかわからないのかかわからないまま、今日までやってきているわけです。だから、設計を受けた設計業者、これは建築本体もそうやし、それから電気本体

もそうですよ。その設計業者のチェックが担当課としてできなかったのかどうか、以上の4点について、ちょっとかいつまんでお尋ねをしたいと思います。

○議長（河野博文君） 長尾新中学校開校推進室長。

○新中学校開校推進室長（長尾孝宏君） 今回の部分も含めて、工事の設計変更等の打ち合わせというか、代替案、どういった形でなされてきたのかということであります。

設計変更も段階がいろいろありまして、まずは業者から上がってきた部分、それを工事を出して、質問の期間等を設けています。その期間に施工業者のほうから、ここはどうなんですかというような質問が入って、それについては、ああ、これは設計の誤りですという部分であったり、数量が間違っていましたとか、そういった部分を修正することはまずあります。それと、工事を進める中で、現場はこうなんやけれども、これだと合わんのじゃないですかとかいうような協議。それはもちろん、その場合は、施工業者からうちの監督員のほうが受けて、そこで協議をして、監督員のほうが文書で指示等を回答します。もちろんこれは設計変更しませんという部分もあったりということもありますが、基本的には、必要であれば設計変更して対応しますというようなことでやりとりをして決めていくというような形で、間違いなくそういったやりとりがあって、書面の中で確認した上で、設計の変更はされているというふうに考えていただいていると思います。

あとミスは誰の責任なのかという部分なんですけど、以前の土木工事のときも、これだけ湧水が出るのに予見できなかったのかとかという部分でございましたけれども、実際のところ設計が全ての部分をカバーしているとか、100%それでいけるということは、まれな部分といたしますか、そういった部分があるかというふうに思います。国のほうでも、ガイドライン等の定めの中では、やはり設計誤謬、設計の誤りであったり、脱漏、抜けとか、そういった部分があるということを前提に、設計変更のやり方について示されております。そういった部分では、まずは設計業者の設計にまずいところがあった部分、それを納品された時点で、町が出す前にチェックができなかった部分、そこがミスであろうかなというふうに考えております。

あと全体額ということなんですけど、ちょっとこれについては、細かい工事の個別の分が要りますか。よろしいですか。平成29年第3回定例会6月のときにお話しした事業費、これはもう全てが入っている部分です、備品等も入っている部分、工事費のみじゃありません。それが33億5,300万円余り、現在でまだ未執行の部分もあります、未発注の部分もありますが、設計額等を含んだところで、35億500万円余りということでございます。3月議会には、最終的な部分は工事の精算等が出ますので、最終的な数字をお示ししたいというふうに考えております。

あと駐輪場の下の基礎が必要以上じゃないかという部分ではありますが、それについてはちょっと技術的な部分はコメントはできません、申しわけないんですが。ただ、上に型入れといいますか、そういった部分で、駐輪場の建物というか屋根がつきますので、風が来たときに飛ばないようにとか、そういった部分も含めて、頑丈につくっているんだろうというふうな認識でございました。技術的な評価については、ちょっと今の時点では何とも申し上げられません。申しわけありません。

以上でございます。

○議長（河野博文君） 13番繁田弘司君。

○13番（繁田弘司君） 中身についてはわかりました。私が思うに、担当課の人も、これはもう専門の方ではないわけですから、そういったことはあろうかというふうに思いますが、これだけ大きな予算を、今思えば、設計業者が決まった時点できちっとした打ち合わせからスタートできて、いかに安く上げるかというふうな努力をしたのかというのが、なかなか見えないわけです。これはもう全ての、電気も管も何もかも。それを今になって言ったって、これはもう始まりませんけれども、今後に生かしてもらいたいのは、設計のときにきちっと初めから物事をつくるときにはわかるわけですから、それから設計変更もわかるけれども、こういったような大きな設計変更がたびたび出るようなことでは、今後の玖珠町の建築設計からもろもろに大きくかかわってくると思うんですよ。だから、今回の教訓を生かして、次にきちっと、そういったことのないように、努力をしてもらいたいというふうに思います。

駐輪場の件にしてもしかり、本当にそこまでやらなければいけないのかと。それはなぜかというのと、私たちもこういうふうに、今回二千何百万円か認めてくださいと。じゃ、認めましょうと。じゃ、地域住民の人から相次ぐ設計変更が出て、これだけの金額を議会は承認しているけれども、あなたたちはきちっとチェックをしたのですかと。そういったことを言われるのが私たちの立場ですから、そのことを町民の人のいろんな意見を聞きながら、きょう担当課長に経過はどうであったのかと、絶対これは必要な案件だったのかと、だから今さら設計に対して責任を問うとか、どこそこに責任を問うということはないで、もう日にちは決まっているわけですから。地域住民の人からいうと、ほんならあんなたちが仮におかしいところなければ認めなければいいじゃないかと。しかし、認めなかった結果、学校が間に合わなかったら、議会が学校のストップをかけたと言われますよと。だから、私たちから見れば、もっと追及しておかしい部分を勉強したいところもありますけれども、そこもなかなかそういうふうな状況にはならないということを含めて、重々議会の議員の気持ちもわかっただいて、しかももうあと残りわずかですから、本当によい学校をつくり上げていただいて、そして今回の教訓を生かして、次の建築物やいろいろなものに対して、事前に十分な調査をした上で発注をするというようなことを心掛けていただきたいというふうに思いますが、どうでしょうか。

○議長（河野博文君） 長尾新中学校開校推進室長。

○新中学校開校推進室長（長尾孝宏君） 本当に今後に生かせる御提案といたしますか、御示唆をいただいたというふうに思っております。

ただ、1点だけ、安く上げている努力はどうなのかというお話がありましたが、こういったお金がかかる変更があった場合、その他の仕様をちょっと下げてでもどうにかできないかという努力はもちろんさせていただいております。そういった部分もしておるということだけは、御承知おきいただきたいというふうに思っております。

今後、こういった部分、今言われたようなところを十分に注意して生かしてもらいたいと思ってお

ります。ありがとうございます。

○議 長（河野博文君） 9番宿利忠明君。

○9 番（宿利忠明君） 9番宿利です。

今の繁田議員さんに関連したような質問になるんですけども、本当に旧校舎の改築ということで、壊してみなければわからなかった点とか、掘ってみなければわからなかったとか、たび重なって請負契約の変更ということで、担当者としては苦勞したと思うわけでありましてけれども、やはりこの事業が一段落してからでも結構だと思えるんですけども、何が原因だったのか、やっぱりこれは検証をしっかりと、議会に報告をしていただいて、その結果を生かして、今、繁田議員と同じですけども、今後こうした事業にたび重なるこうしたことがないようにしっかりと、責任者をどうというんじゃないくて、何の問題があってこういう結果が出たのかという原因の検証と、これをどのようにしていけば、今後の事業に生かすということを、やっぱりしっかりと検証して、その結果をやはり報告をしていただきたい、このように思います。

○議 長（河野博文君） 長尾新中学校開校推進室長。

○新中学校開校推進室長（長尾孝宏君） ありがとうございます。

もちろんこれまでの変更の御説明の中で、全ての変更理由を説明できているわけではございません。そこが本当に申しわけなく思っております。そういった部分も含めて、今の時点でなかなか細かくできていませんが、一段落ついた時点で、おっしゃられるとおりに、議会のほうにそういった部分が何だったかという分はわかるような形で資料提供はしていきたいと思っております。ありがとうございます。

○議 長（河野博文君） 12番藤本勝美君。

○12番（藤本勝美君） やっと順番をいただきました。

私は、きょうは憤りを感じておるんですよ。腹が立っておるんです。

なぜかといったら、町長、前回の私の質疑のときに、この中学校の補正予算で、もうこれ以上の補正は認めんように、担当課に申しつけますとはっきり言いました、この本会議場で。それで、これはやらならんことで、また今度、本会議で聞きますけれども、やらならんことを私は言っとるんです。このキュービクル、高圧受電設備と言わな悪かったですかな、これキュービクル、そうでしょう、これは絶対使いものにならんですよと、もう何年前に私は言っている。

それから、この電気、地中に入っている電気、誰が見られても、もう使えるはずがないんですよ、何十年もたって。水が入ったり、地震があったり、かなり傷んでおった。こういうのを既存の設備を使うなんて、こんなことがもう本体自体からおかしくなっているんです。本体はあそこであれを改築するということから、大体おかしいんです。それをやりよるからもうやる、認めた事業でもあるし、これはやむを得んけれども、余りにも、余りにも議会のたびに補正予算が上がってくるでしょう。しかも、大きな金額、10%ぐらい、ややもすると10%をはるかに超えるような、こんな事業をやっていたんじゃ、これは町の財政が持てませんよ。

私はもうこれは新町長になって、プロジェクトチームをつくってくれ、その前から言いよったけれども、なかなかでき上がらなただけでも、専門家を入れてプロジェクトチームをつくれと言ったらできて、したけれども、それは既にそのときには遅かったんです。ほんで、あなたたちは事務屋さんで、専門家がおらなかった。設計業者から上がってきて、その設計を、ああ、そうですか、うのみにしたんでしょうな。到底認められるような設計じゃなかったはずです。もう少し専門業者を入れて、そして、この設計が正しいか正しくないか。安い業者が設計してくれた、これは立派なことです。図面が立派です。そんなことじゃないんですよ。これも私は一番先に、校舎をあそこにつくるから反対した理由もあります。

家を各家庭が風呂場をやるか、キッチンをやりかえようかといったときに、必ず大きな事業になるんですよ。当初100万で大工さんと商談ができた。ただ後は、倍額以上になるんですよ。それもあの校舎の問題のときに言っとるんですよ、調べてください。これはやっていけるから、やむを得んでしょう。やむを得んけれども、余りにも皆さん方ずさん過ぎる。

課長、住民の皆さん、建設課あたりに相談するとか、専門技師が今2人ですか、おもしろいんじゃないけれども、それはまだ歳が若い人で、今から経験していくんでしょうけれども、こういった者と相談する。私はちょっとわかりませんから、もう少し専門の業者に、ちょっとこれを見てもらえんすかとかいうような話もできたと思う。それくらいのことをやっていかな、そら大きな事業、たまったものじゃないです。

今度北山田の自治会館にかかわるが、これは北山田の自治会館、これも新築になりますが、よほど考えてやってもらわんと、町長、わかりますね。やっぱり専門官を入れて、監督官を入れてやらなければ絶対だめだと思います。もう八幡の公民館もそうですよ、あの空調。失敗だらけですわ。これはあなただけじゃない、全体的に誰がどこに行くかわからんし、全体的に考えてやってくれな。

私も4月の選挙で勝つか負けるかわかりません。負けたときには、今度は住民としてもものを言いますよ。町がこれをやっぱり町民のために、本当に真剣になって考えてください。何とか予算内に入れるとかそういう問題じゃないんです。この古い物を使ったということは、必ず厳しいところが出てきます。もっとまだ出てくるんじゃないかと心配しよる。先ほど繁田議員も申しました。今後あなたたちは少し町民に対して今後こういうことのないように、てんまつぐらいしたらどうですか。総務課長。そうじゃない、みんなに気を引き締めるようにやらんと、大変ですよ。

○議 長（河野博文君） 藤本議員、この議案についてのみ質疑。要望は要望で、後で。

長尾新中学校開校推進室長。

○新中学校開校推進室長（長尾孝宏君） 貴重な御意見ありがとうございます。

言われるとおり、まずそういった経験のなさであったりとか、事業の時間が限られている中で、なかなかそういったきっちり確認ができなかった分、重々反省をしております。以後気をつけますので、よろしく願いいたします。

○議 長（河野博文君） 宿利町長。

○町 長（宿利政和君） 全体的な部分も含めまして、私から再度お願いとおわびといたしますか、お話をさせていただきたいというふうに思っております。

2カ月半後には、もう4月に星翔中学校を開校しなければなりません。過去をさかのぼりますと、各課からグラウンドが狭いんじゃないか、あそこで適地なのかとか、いろいろ町民の皆さんからもう十数年前からいろいろ心配をいただく中で、今回あそこの現地の大規模改修という方針で、校舎、学校施設の整備に進めてきた経過がございます。

小さな話をしますと、本来公共工事というのは、設計をし、発注し、請け負っていただいた業者の方とお互い連携を密にしながら、その物件を遂行していくというのが基本的な流れでございまして、私も過去に三十数年同じような地方自治体職員として公共工事の発注に携わった身としては、軽微な変更であれば、その請負金額や条件の中で、ほかのものを少し調整してでも、それがその範囲内、金額内でできないか、請負業者の方と協議をしながら進めるというのは大原則でございまして、しかしながら、それにとどまらない比較的大きな変更が生じたものとか、また発注者側、受注者側、業者側の責任に得ない災害等で得た変更、こういったものは発注者側が責任を持って、その設計変更、請負変更にあたるというのが、これはもう大原則でございます。

今回のように、掘ってみなければわからん、やってみなければわからんというようなことは本当に異例のことでございまして、税金を活用させていただいた公共工事の執行については、本来非常に厳しい状況だというふうに思っておりました。

いろいろと御指摘をいただきました。まだまだ職員の技術力の向上、そしてまた専門性が非常に高い公共工事については、そういった職場の執行体制も含めて、責任ある私としては、今後これを生かして、今後また新たに出てきたときの大規模事業等に生かさせていただきたいというふうに思っているところでございます。

私自身も就任前は大規模改修でいいのか、校舎があそこでよかったのかということの問題視した一人でもございますので、宿利副議長が申されましたように、しっかりと検証して、皆さん方に報告を申し上げ、どこがよかったのか、悪かったのかということを経験しながら、今後の行政に役立てていただきたいというふうに思っているところであります。ちょっと総括的な部分もあります。今回の変更は時期が迫った中で、もうやむを得ないということで、ぜひ御理解を賜り、議決をいただきたいと思っております。しっかりと受けとめて、今後に生かさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

○議 長（河野博文君） よろしいですか。

ほかに質疑はありませんか。

（な し）

○議 長（河野博文君） それでは、議案第1号の質疑を終わります。

次に、議案第2号、くす星翔中学校建設事業機械設備工事の請負契約の変更について質疑を行います。

質疑はありませんか。

(な し)

○議 長(河野博文君) 質疑なしと認めます。

議案第2号の質疑を終わります。

報告第1号、専決処分の報告について(その13) (和解及び損害賠償額の決定について) 質疑を行います。

質疑ありませんか。

(な し)

○議 長(河野博文君) 質疑なしと認めます。

報告第1号の質疑を終わります。

報告第2号、専決処分の報告について(その14) (訴えの提起について) 質疑を行います。

質疑ありませんか。

(な し)

○議 長(河野博文君) 質疑なしと認めます。

報告第2号の質疑を終わります。

以上で議案質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

議案第1号に対する反対意見の発言はありませんか。

(な し)

○議 長(河野博文君) 賛成意見の発言はありませんか。

(な し)

○議 長(河野博文君) 議案第2号に対する反対意見の発言はありませんか。

(な し)

○議 長(河野博文君) 賛成意見の発言はありませんか。

(な し)

○議 長(河野博文君) 以上で討論を終結します。

これより採決を行います。

議案第1号、くす星翔中学校建設事業電気設備工事の請負契約の変更について、原案のとおり賛成する方の起立を求めます。

(起立全員)

○議 長(河野博文君) 起立全員です。着席ください。

よって、議案第1号については、可決することに決定いたしました。

次に、議案第2号、くす星翔中学校建設事業機械設備工事の請負契約の変更について、原案のとおり賛成する方の起立を求めます。

(起立全員)

○議長(河野博文君) 起立全員です。着席ください。

よって、議案第2号については、可決することに決定いたしました。

日程第6 委員会の閉会中の継続調査について

○議長(河野博文君) 日程第6、委員会の閉会中の継続調査について議題とします。

委員会の閉会中の継続調査について、議会運営委員会委員長から、会議規則第75条の規定によって、お手元にお配りしました申出書のとおり、閉会中の調査の申し出が提出されています。

お諮りします。

委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(河野博文君) 異議なしと認めます。

よって、議会運営委員会委員長から申し出のとおり、閉会中においても所掌事務について調査を行うことに決定いたしました。

以上をもちまして、本日の日程を全て終了いたしました。

町長から発言の申し出がありましたので、これを許します。

宿利町長。

○町長(宿利政和君) それでは、平成31年第1回玖珠町議会臨時会の閉会に当たりまして、一言御礼の御挨拶を申し上げたいと思っております。

本臨時議会に御提案を申しあげました工事請負契約の変更案件2件、専決処分の報告案件2件の計4件でしたが、いずれも御審議、御承認を賜りまして、まことにありがとうございます。

とりわけ今臨時会におきまして、玖珠町立星翔中学校の建築事業における変更契約につきまして、先ほど貴重な御意見もいただきましたように、十分踏まえまして工事設備を整えていき、ことしの4月には、さすがしく未来の玖珠町を託す子供たちの学びの場である、そういった場を設け、新中学校の開校に全力で取り組んでまいりたいと考えております。

また、先般、全員協議会でも少し報告を申し上げましたように、玖珠美山高校の支援につきまして、少しだけ今後の方向性として御報告をさせていただきたいと思っております。

まず1つ目は、公営塾「玖珠志学塾」の事業の延長についてでございます。御存じのとおり、平成28年12月に玖珠美山高校の生徒を対象に開校いたしました玖珠志学塾につきまして、開校後2年を経過し、年々その成果が上がっているというふうに思っております。今年度、1カ月前の12月末の状況でございますが、国公立大学への入試の合格実績が、広島大学など有数な大学に7名が合格をしております。過去の同時期に比べても多い状況でございます。そのほか私立大学や専門学校に向けて、生徒が希望する進路もそれぞれ決定しているというふうに聞いておるところでございます。

この公営塾の取り組みにつきましては、来年度、平成31年度までの事業として、債務負担行為として議会で御承認を賜っているところでございますが、事業の成果を評価して、その存続の可否を決定するには、31年度までの3カ年の実行では不十分というふうに考えておまして、事業期間をその後延長させていただきたいというふうに現時点で考えているところでございます。

一方で、中学校から美山高校へ進学を希望する生徒の希望も今少ないというふうに聞いておりますので、そういったことにも役立つのではないかなと考えているところでございます。ほかの高校にない大きな魅力づくりとなる部分でございますので、本日この場でその方向性を示させていただきたいというふうに考えております。

なお、事業の延長に伴います財源の予算化等については、平成32年度以降、改めまして議会でお諮りを申し上げると考えているところでございます。

また、さらに美山高校の部活動の充実を図ることで、例えば同校野球部にアドバイザーとして、全国的に指導実績を持っておられる方などを招聘して、外部指導者によってそのレベルをアップしていく、こういったことも考えており、何人かの方に今打診をしているところでございます。

美山高校の魅力向上、ひいては通学される生徒皆様の文武両道を実現するための環境づくりに努めてまいりたいと考えているところでございます。

続きまして、くす星翔中学校の部活動の強化、そしてそれを通じました美山高校の支援について考えを述べさせていただきたいと思えます。

玖珠美山高校の男女ホッケー部は、九州地区の強豪校と言われる存在であります。町内の中学校にはホッケー部がなく、小・中学生はホッケー協会の御指導のもとで、休日を中心に社会体育の考え方で現在取り組みをいただいているところでございます。そのような活動の中で、昨年九重町の生徒と合同ではありますが、中学チームが全国大会出場を果たすなど、玖珠町内の中学校にホッケー部の創部を望む声が年々大きくなっております。

一方で、新中学校のくす星翔中学校の部活動につきましては、現在の6中学校で行われている部活動を中心に実施する検討が進められてきてまして、玖珠町の一村一スポーツというべきホッケー競技については、学校の指導者の不在という大きな課題がございました。そのため、この解決を見るまでは、創部が保留という対応となっております。そういった状況の中で、先日大分県ホッケー協会から部活動の指導者及び用具等について、全面的な協力をしたいという申し入れ等もいただきました。教育委員会におきましても、ホッケー協会の御協力がなければ、この部活動の運営、課題解決ができないと、そのように判断し、今後も御協力を賜っていきたいと考えております。

玖珠町といたしましても、新中学校ホッケー部が玖珠美山高校への進学に直結するものというふうに考えまして、中高の交流をつなげることによって、新中学校開校時から、ほかの部活動と同様にホッケー部の部活動ができるよう、条件整備を進めてまいりたいと考えているところでございます。

以上、美山高校の魅力づくり、そしてまた、新中学校の部活動の考え方について述べさせていただきました。

結びになりましたが、年末年始、ことしは非常に暖かい天候に恵まれておりますが、まだまだ今後寒い日が訪れるのではないかと考えられております。議員の皆様におかれましては、体調管理に十分御留意をされ、引き続き、まちづくりに御尽力、御協力を賜りますようお願いを申し上げまして、平成31年第1回玖珠町議会臨時会の閉会に当たりましての御礼の挨拶にさせていただきます。本日はまことにありがとうございました。

○議長（河野博文君） 以上をもちまして、平成31年第1回玖珠町議会臨時会を閉会いたします。御協力ありがとうございました。

午前10時59分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成31年1月18日

玖珠町議会議長 河野博文

署名議員 松下善法

署名議員 秦時雄